

## 教員一覧

(2025年5月1日現在)

### ■所長

井上 章一 風俗史

### ■副所長

フレデリック・クレインス 戦国文化史、日欧交渉史

松田 利彦 日朝・日韓関係史

### ■教授

磯田 道史 日本史学

磯前 順一 宗教学、批判理論

伊東 貴之 中国思想史、東アジア比較文化交渉史

榎本 涉 中世国際交流史

楠 綾子 日本政治外交史、安全保障論

タイモン・スクリーチ 江戸時代の歴史・美術史

関野 樹 情報学

戦 暁梅 近代日中美術交渉史

瀧井 一博 国制史、比較法史

安井 真奈美 文化人類学、日本民俗学

山田 奨治 情報学、文化交流史

劉 建輝 日中文化交渉史

### ■准教授

太田 奈名子 メディア史

片岡 真伊 日本近現代文学、比較文学

呉座 勇一 日本中世史

中丸 貴史 日本古典文学

エドワード・ポイル 境界研究、文化遺産論、島嶼研究

### ■助教

孫 詩彧 家族社会学、ジェンダー研究

光平 有希 音楽療法史

### ■特任准教授

周 雨霏 経済思想史、社会思想史

馬場 幸栄\*1 デジタルアーカイブ、書誌学、科学技術史

### ■特任助教

駒居 幸\*2 カルチュラル・スタディーズ、日本近現代文学

オリバー・ホワイト 日本近世戯作文学

ザヘラ・モハラムプール 比較文学・比較文化

研究者情報



\*1 人間文化研究機構 人間文化研究創発センター 特任准教授(併任 国際日本文化研究センター 特任准教授)  
\*2 人間文化研究機構 人間文化研究創発センター 特任助教(併任 国際日本文化研究センター 特任助教)

## 交通案内



阪急桂駅(西口)から  
●京都市バス「西5」「西6」で約30分  
●京阪京都交通バス「20」「20B」で約20分  
●タクシーで約15分



JR桂川駅から  
●ヤサカバス「1」「6」で約30分  
●タクシーで約20分  
●JR桂川駅までは、JR京都駅から大阪方面行き(普通)に乗車約5分

JR京都駅(烏丸中央口)から  
●京阪京都交通バス「21」「21s」「21A」「26」「26B」で約45分  
バスはいずれも「桂坂小学校前」又は「花の舞公園前」下車で徒歩5分

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地  
TEL (075) 335-2222(代) / FAX (075) 335-2091  
<https://www.nichibun.ac.jp>



表紙デザイン:  
日 文 研 デジ タ ル アー カ イ ブ 「ち り め ん 本」 コ レ ク シ ョ ン よ り



日 文 研 は、日 本 文 化 の 研 究 を 支 え る 国 際 拠 点 で す。

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
International Research Center for Japanese Studies  
NICHIBUNKEN BROCHURE

# 国際日本文化 研究センター 概要 2025

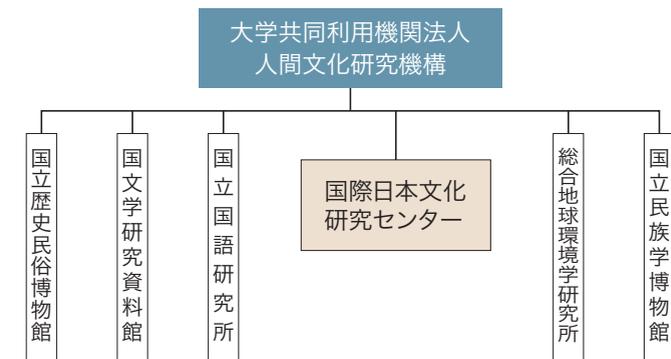
## 日 文 研 と は

国際日本文化研究センター(日 文 研)は、日本文化に関する国際的・学際的な総合研究と世界の日本研究者に対する研究協力・支援を行うことを目的として、1987年に設置されました。

日 文 研 は、日 本 の 文 化 ・ 歴 史 を 国 際 的 な 連 携 ・ 協 力 の 下 で 研 究 す る と と も に、外 国 の 日 本 研 究 者 を 支 援 す る と い う 大 切 な 使 命 を も っ た 大 学 共 同 利 用 機 関 で す。こ の 使 命 を 推 し 進 め る た め に、国 内 外 か ら 参 加 す る 多 様 な 専 門 領 域 の 共 同 研 究 員 に よ る、分 野 横 断 的 な 日 本 文 化 に 関 す る 研 究 を 展 開 し て い ま す。

また、海外から人文・社会科学等の諸分野の研究者を招いて最新の成果や情報に基づく自由で創造的な研究活動を行うとともに、その情報を発信するなど、日 文 研 は、日 本 文 化 の 研 究 を 支 え る 国 際 拠 点 と し て の 役 割 を 担 っ て い ま す。

## 組 織



## 日 文 研 の 役 割

1. 日 文 研 は、国 際 的 ・ 学 際 的 ・ 総 合 的 な 観 点 か ら、日 本 文 化 に 関 す る 研 究 課 題 を 設 け、国 内 外 か ら 参 加 す る 様 々 な 分 野 の 研 究 者 に よ る 共 同 研 究 に 取 り 組 ん で い ま す。
2. 共 同 研 究 を、「自 然 観 と 人 間 観」「文 化 と 権 力」「大 衆 文 化 研 究 の 展 開」とい う 3 ユ ニ ッ ト に 分 類 し、柔 軟 な 組 織 ・ 運 営 に よ り 推 進 し て い ま す。
3. 世 界 各 地 の 日 本 文 化 の 研 究 者 ・ 研 究 機 関 に、研 究 情 報 を 発 信 す る と と も に、実 情 に 応 じ た 研 究 協 力 を 行 っ て い ま す。
4. 研 究 成 果 は、多 言 語 に よ る 図 書 ・ 学 術 雑 誌 ・ 講 演 会 ・ シ ン ポ ジ ヴ ム な ど 様 々 な 形 で 広 く 国 際 社 会 に 提 供 し て い ま す。
5. 総 合 研 究 大 学 院 大 学 先 端 学 術 院 先 端 学 術 専 攻 国 際 日 本 研 究 コー ス 博 士 後 期 課 程 で は、次 代 の 研 究 者 養 成 に 努 め て い ま す。ま た、国 内 外 の 大 学 院 生 ・ 留 学 生 を 受 入 れ て 指 導 し て い ま す。

## 所蔵資料



### 図書館

日本研究に必要な各種資料を幅広く収集し(図書資料約62万冊<sup>※</sup>)、国内外の研究者の利用に供するとともに、様々な情報を提供しています。利用者は図書を自由に手にとって閲覧することができます。外部の方でも、学術研究・調査等を目的とする場合であれば、事前申請のうえ閲覧が可能です。



文部省美術展覧会絵葉書「三人の舞妓」



Elogii di capitani illvstri  
(著名武将列伝)所収の秀吉肖像

### データベース

所蔵する日本研究資料、所員の研究成果をはじめ、他機関所有の日本研究資料などのデータベースを作成しており、現在46種類<sup>※</sup>をウェブで公開しています。

※2025年3月31日現在



日文研デジタルアーカイブ



## 活動

### 研究活動

#### 共同研究

日本文化に関する国際的・学際的なテーマに基づく総合研究を、国内外の研究機関や研究者と協力しながら行っています。既存学問では周辺化されたテーマも取りあげ、また、グローバルな観点から他地域との交流や影響関係を理解することで、人文学のフロンティアを開拓する斬新かつ堅固な研究を目指しています。

#### 「国際日本研究」コンソーシアムのグローバルな新展開 —「国際日本研究」の先導と開拓—<sup>※1</sup>

「国際日本研究」や「国際日本学」を掲げる国内外の研究・教育機関の研究ネットワークを構築し、「国際日本研究」の深化と新たな展開を目指します。共同研究、国際ワークショップ等を通じて学問的基盤を構築しながら、若手研究者の育成にも努めています。

#### 開かれた人間文化研究を目指した 社会共創コミュニケーションの構築<sup>※2</sup>

研究成果を可視化し、学界と社会との共創により研究を高度化することを目指す事業です。研究機関等と連携しつつ、展示や漫画・アニメーション、データベース等の多用な手法を用いて研究成果を社会に共有・公開しています。

### 研究協力活動

#### 国際研究協力

「海外シンポジウム」を含めた国内外での研究交流ネットワーク形成のほか、来日中の外国人研究者による発表・交流の場として「日文研フォーラム」等の各種レクチャー、セミナーを開催しています。

#### 資料の収集・整理・提供

収集する主な資料には次のようなものがあります。  
・外国語で書かれた日本研究図書  
・日本研究関連の文献目録及び映像・音響資料  
・海外における日本研究者・研究機関に関する情報  
これらはデータベース化され、広く公開されています。

#### 学術交流協定

国内外の大学・研究機関との組織的共同研究及び研究者交流を推進するため、学術交流協定を随時締結しています。

### 普及活動

#### 研究成果の出版および情報発信

『日本研究』、*Japan Review*、「日文研叢書」、*Nichibunken Monograph Series*、「共同研究報告書」、『日文研』などを「日文研オープンアクセス」で公開しています。

#### 社会貢献

学術講演会、一般公開、日文研—京都アカデミックブリッジ、日文研×読売Bizフォーラム東京など一般の方を対象とした多様なイベントを開催しています。  
また、教育委員会と連携協定を結び出前授業や探求学習への協力を行うなど、若年層への研究成果発信や次世代人材育成を通じて地方創生にも貢献します。

※1 人間文化研究機構が第4期中期目標期間(2022年度～2027年度)に掲げる基幹研究プロジェクトの事業。

※2 人間文化研究機構が第4期中期目標期間に掲げる共創促進事業の一環。

◆詳細は日文研ウェブサイトでも発信しています。

詳細は2次元コードからご覧ください。

## 共同研究

### 2025年度 共同研究一覧 (2025年5月1日現在)



研究課題	研究代表者
口と鼻—人体と外界の接合域の日本文化史	教授 磯田 道史
町とモニュメント —視覚文化史から見た日本の都市計画と記念	教授 タイモン・スクリーチ
胎内から墓場まで—現代における死生観の解明	教授 安井 真奈美
「島国・日本」再考—移り変わる姿、意識、心象	准教授 エドワード・ポイル
近代日本における仏教と神道の交差 —「神仏分離」から再構築へ	客員教授 教授 守屋 友江 瀧井 一博
日文研所蔵井上哲次郎関係書簡の研究 —国民国家の始発と終焉	教授 磯前 順一 共同研究員 菊田 真司
比較のなかの「東アジア」の「近世」 —新しい世界史の認識と構想のために	教授 伊東 貴之
西洋における日本観の形成と展開	教授 フレデリック・クレインス
「戦後」と「近代」を超えて —1970年代日本の国家と社会	教授 楠 綾子
文化コモンズの生成と変容	教授 山田 奨治
「知」を編むということ —集輯・編訳・表象にまつわる共創的探究	准教授 片岡 真伊
国家形成のなかの知—比較国制史からの日本論	教授 瀧井 一博
13世紀を中心として見たユーラシア東部地域と日本 —王権・都・離宮・庭園	客員教授 教授 豊田 裕章 伊東 貴之
近代東アジア文化史の再構築Ⅱ —20世紀の百年間を中心に	教授 劉 建輝
異文化媒介者たちの比較史	教授 榎本 渉
近代日本における「文人文化」の変容	教授 戦 暁梅
政治と文化の枠を越えた近代日本の国際文化交流の実像 —文化外交官・柳澤健の学際的共同研究	客員准教授 教授 湯浅 拓也 楠 綾子



歴史研究の成果をアニメ化(YouTubeで公開中)



## 最新の研究成果と普及活動

日文研の教職員等の研究成果は「日文研オープンアクセス」で蓄積・公開しています。→



### 出版物

日本文化研究の発展と普及を目指し、最新の研究成果を学術書や論文集のほか、一般向けの図録や学習マンガなど様々な形で出版しています。



共同研究報告書



学術雑誌『日本研究』



学習マンガ

### イベント

世界の日本研究者が集う海外シンポジウム等を開催し研究交流を促進するほか、一般の方に向けた多様なイベントを行い研究成果を広く社会に発信しています。



◀カイトロ大学で開催した海外シンポジウムの様子(2024年11月)

▼日文研講堂で行った一般公開の講演会&座談会の様子(2024年11月)



研究会・シンポジウム情報

一般向けイベント情報



公式SNSで最新の出版物・イベント情報や講演会動画等を発信しています。

